

けんぽく農林ニュース

～「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」～

令和7年 6月27日発行 第106号



伊達地方の雨よけきゅうり栽培で収穫が始まりました。
日本一の夏秋きゅうり産地として、
今年も高品質なきゅうりを消費者の皆さまにお届けします！

～目次～

- | | |
|---|------|
| ●川俣町のふきのとう（野生）の出荷制限が解除されました | P 1 |
| ●令和7年度県北地方園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会を開催しました | P 2 |
| ●農業災害に備え、関係機関・団体と連携し、技術対策の支援などに取り組んでいます | P 3 |
| ●JAふくしま未来福島地区きゅうり選果設備竣工稼働式が執り行われました！ | P 4 |
| ●本県初認定！花きでは全国初認定！
スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定 | P 5 |
| ●JAふくしま未来伊達地区農業塾が開講しました！ | P 6 |
| ●農家の助っ人を養成します（農作業技術養成講座） | P 7 |
| ●みどり認定証を交付しました！ | P 8 |
| ●国見小学校児童が「天のつぶ」の田植えをしました！ | P 9 |
| ●「田んぼの学校 開校式・田植え」を行いました！ | P 10 |
| ●地域産業6次化を推進しています | P 11 |
| ●令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生募集 | P 12 |

川俣町のふきのとう（野生）の出荷制限が解除されました

令和7年4月25日（金）に、川俣町で採取される野生のふきのとうの出荷制限が解除されました。

川俣町で野生のふきのとうを採取し出荷や販売を希望される方は、安全性等を確認するため、出荷販売の開始前に県のモニタリング検査を受け、生産者台帳の登録を受ける必要がありますので、以下の点にご注意ください。

- （１）モニタリング検査は、週２回実施されています。出荷販売を希望する場合は、余裕を持って当所にお申し込みください。（申込みに必要な情報：生産者氏名、住所、連絡先、採取場所、出荷販売先）
- （２）モニタリング検査に必要な検体をご提供ください。検体の量の目安は1 kg です。重量の確保が難しい場合は、当所にご相談ください。
- （３）モニタリング検査後に出荷する際は、ラベル等により品目名、栽培・野生の別、市町村名を表示してください。

例「ふきのとう（野生）川俣町産」

なお、詳しくは、当所森林林業部にご相談ください。

【問合せ先：森林林業部林業課 電話：０２４－５２１－２６３２】



農林水産物モニタリング検査結果の公表
(福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報)

福島県農林水産物・加工食品
モニタリング情報 HP



野生のふきのとう

【担当部署】森林林業部

【振興方向】 1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化

令和7年度県北地方園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会を開催しました

令和7年4月30日(水)、当所主催による「令和7年度県度県北地方園芸作物及び林産物緊急時モニタリング説明会」を開催しました。

県が実施する農林水産物を対象とした緊急時モニタリングは、放射性物質に対する出荷・販売用の県産農林水産物への影響の把握と安全性の確認及び消費者に対する正確な情報の提供を目的として行っています。なかでも、園芸作物及び林産物は、対象とする品目が多いため、関係機関と連携して県産農林産物の安全性確認を進めることが重要です。

当日は県北地方の市町村、福島中央青果卸売株式会社、JAふくしま未来、伊達果実農業協同組合等の職員が参加し、当所担当者から園芸作物及び林産物の緊急時モニタリングに関する説明を行うとともに、全員で本年度の進め方を確認しました。

当所では、関係機関・団体と協力し、緊急時モニタリング検査の円滑な実施と、出荷制限品目等の出荷管理の徹底に引き続き取り組んでいきます。



挨拶を述べる農業振興普及部長



当所担当者による出荷制限品目の誤出荷防止徹底周知

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化

農業災害に備え、関係機関・団体と連携し、技術対策の支援などに取り組んでいます

果樹地帯である県北地方においては、特に凍霜害への対策が強く求められており、関係機関と連携し、農業災害対策を周知するとともに、万が一、被害が発生した場合は迅速な被害調査や復旧が重要となっています。

そのため、令和7年3月17日(月)、福島県防霜対策本部設置に合わせて、当所内に県北地方防霜対策本部を設置しました。5月31日(土)までの76日間にわたり、霜注意報等気象情報の収集や県北地方の市町村、JA等と連携して凍霜害防止について技術対策の支援を行ってきました。

また、令和7年4月7日(月)に、当所主催による県北地方農業災害担当者会議を開催しました。当日は、県北地方の各市町村、JAふくしま未来の各地区本部、伊達果実農業協同組合、福島県農業共済組合、当所の担当者が出席し、果樹の生育状況や防霜対策の方法、災害発生時の事務などを共有しました。

今年は、生産者をはじめとする関係者の事前対策が徹底されたことから、凍霜害の発生はありませんでした。

一方、近年は、地球温暖化の影響もあり、極端な気象現象が頻繁に発生する傾向にあることから、農業災害の未然防止に向けて、事前対策の徹底を周知するなど、引き続き関係機関・団体とともに取り組んでいきます。



県北地方防霜対策本部設置



県北地方農業災害担当者会議で挨拶を述べる農業振興普及部長

【担当部署】農業振興普及部

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

J Aふくしま未来福島地区きゅうり選果設備竣工稼働式が執り行われました！

令和7年3月27日(木)、福島市にあるJ Aふくしま未来福島地区東部野菜集出荷施設において、新たに導入されたきゅうり選果設備の竣工稼働式が執り行われました。

竣工稼働式では、安全祈願に続き、ふくしま未来農業協同組合の数又清市代表理事組合長(当時)は「新たな選果設備の機能を最大限に活用し、『夏秋きゅうり販売日本一』の継続産地として、栽培面積拡大と販売高を確保し、栽培者の意欲や所得向上を図っていきたい。」と力強い挨拶を述べられました。その後、穴戸所長を始め来賓による祝辞が述べられ、関係者によるテープカット及び選果設備起動式が行われました。

この選果設備は、産地生産基盤パワーアップ事業を活用して建設され、J Aふくしま未来福島地区としては初めてのきゅうり用の設備です。作業員の負担軽減を図る自動製函や全自動ポリ袋装着装置、また、きゅうりに近赤外光を照射して鮮度を保持する装置など最新の機能が備えられた装置が採用されています。

当所では今後、長期安定出荷のさらなる強化に向けて、この新しい選果設備を核として、露地栽培からの施設化の推進や新たな生産者の確保・育成に関係機関・団体と連携して取り組んでいきます。



祝辞を述べる穴戸所長



選果設備起動式

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

本県初認定！花きでは全国初認定！

スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定

令和7年4月30日（水）、スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画（以下、計画）の認定証授与式が福島市松川町で行われました。主に小ギクを生産している合同会社アグリフラワー福島が、令和7年3月21日（金）に認定されたことを受け、東北農政局が主催したものです。

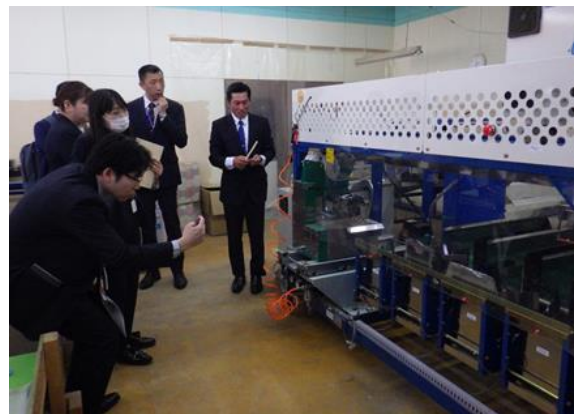
この計画認定は本県初、さらには花き経営体として全国初となります。

代表者の長澤徹氏は、小ギク需要期の作業集中と出荷口スの問題を、各作業の機械化と自動化により解決したいとの考えから、計画的な生産に向け栽培方式を電照栽培に切り替えるとともに、全自動キク選別ロボット結束機などを導入しています。

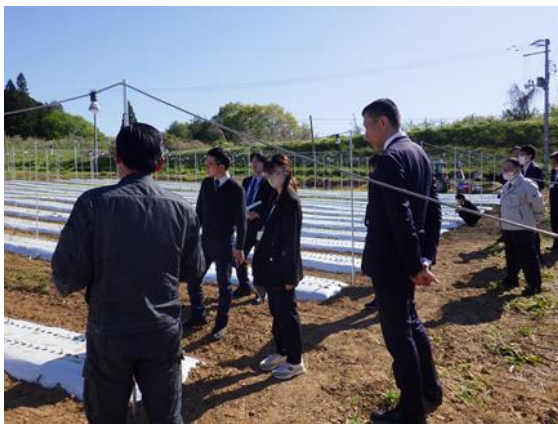
当所では、管内における小ギク栽培機械化体系の確立に向けて、支援を継続していきます。



認定証授与の様子



全自動キク選別ロボット結束機の視察



栽培ほ場の視察



電照用電球点灯の様子（本来は夜間点灯）

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

ＪＡふくしま未来伊達地区農業塾が開講しました！

令和7年5月21日（水）、伊達市保原町のＪＡふくしま未来伊達地区本部において、令和7年度ＪＡふくしま未来伊達地区本部農業塾開講式が開催されました。

農業塾は、産地の新たな担い手となる農家の育成を目的として平成19年から実施しており、今年で17回目を迎えました。農業塾のコースは、伊達地域の基幹品目である「もも」「きゅうり」「あんぽ柿」の3コースがあり、それぞれ年6回の講座を通して、栽培管理技術や病虫害防除などの内容を学びます。

今年度は、「もも」コース19名、「きゅうり」コース10名、「あんぽ柿」コース8名の受講者が座学や現地ほ場で学ぶ予定となっています。

開講式では、主催するＪＡふくしま未来高橋弘伊達地区本部長の挨拶に続いて、当普及所長から、伊達園芸産地の担い手として、基礎をしっかりと学んで、それぞれの品目において実践を兼ねた技術習得支援をさせていただく等、受講者へ期待を込めた祝辞を述べました。

開講式終了後は、各コースに分かれて第1回目の講座（但し、「あんぽ柿」コースは第2回目の講座から）が行われました。

本農業塾は、園芸産地を支える担い手を育成するための重要な取組であり、当普及所では、ＪＡと緊密に連携して活動を支援していきます。



開講式に臨む受講者



当普及所長による祝辞



「もも」コースの講義



「きゅうり」コースの講義

【担当部署】 伊達農業普及所

【振興方向】 2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と基盤整備の強化

農家の助っ人を養成します（農作業技術養成講座）

伊達市では、農作業繁忙期に不足する労働力を確保するため、農作業を手伝ってもらえる人材の養成を目的に、伊達市を代表する農作物であるもも、きゅうり、あんぼ柿について、農業技術養成講座を年5回開催しています。

令和7年5月21日（水）には、第2回目の講座が株式会社みらいアグリサービスのほ場で開催され、当普及所果樹担当職員を講師に、ももの仕上げ摘果について5名が受講しました。

初めに、脚立の正しい使い方について説明し、転落事故に気を付けるよう注意を促しました。その後、「あかつき」の仕上げ摘果について、摘果する果実の特徴や枝の長さに応じた摘果方法を説明した後、受講生が作業を実践しました。

ほとんどの受講生は、ももの摘果が初めてのため、「難しい、難しい」となかなか作業が進みませんでしたが、時間が経つにつれ、手際よく摘果ができるようになり、自信がついたようでした。

今後、きゅうりの収穫、柿の収穫、ももの摘らいと講座は続きます。当普及所では、受講生の皆さんに繁忙期の貴重な戦力として活躍してもらえよう、関係機関と連携し、本講座の目的を達成できるよう支援していきます。



果樹担当職員による講義



摘果作業を実習する受講者

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

みどり認定証を交付しました！

令和7年4月15日(火)、当普及所管内で新たに9名の生産者が新環境負荷低減事業活動実施計画認定(通称みどり認定)を受け、当普及所長から認定証の交付を受けました。

今回認定を受けた9名のうち、8名はりんごを中心とした果樹を生産する羽山果樹組合の生産者の皆さんです。羽山果樹組合では福島県特別栽培農産物認証を受けるなど、従来から環境にやさしい農業に先進的に取り組んでいます。

当普及所では、今後も環境負荷低減を目指した計画に基づき、高品質な果実を生産できるよう支援していきます。



認定証交付式の様子



認定された羽山果樹組合の生産者の皆さん

【担当部署】安達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

国見小学校児童が「天のつぶ」の田植えをしました！

令和7年5月14日(水)、農業や農作物への理解を深め、食の恵みや豊かさ、大切さを伝えるため、国見小学校5年生児童39名を対象とした農業体験学習(田植え作業)が開催されました。

当日、地域の中心的な担い手である小坂アグリ株式会社の管理する水田において、福島県オリジナル品種の「天のつぶ」を、関係機関・団体・当普及所職員のサポートにより児童達が手植えを行いました。

児童達は、初めて素足で田んぼに入り、作業を進めていく中で田植えにも慣れていき、泥だらけになりながらも最終的には空いているスペースを自ら見つけて植えていくなど、田植えを積極的に楽しんでいる様子でした。

代表児童からは「米作りが大変だということが分かった。これからご飯を食べるときには感謝しながら食べたい。」等の感想が述べられました。

秋には稲刈りの農業体験学習が予定されており、当普及所では、今後も関係機関・団体と連携しながら安全・安心な米作りや食育活動を支援していきます。



当普及所職員による子供達への
田植え前の説明



田植えを行う子供達

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

「田んぼの学校 開校式・田植え」を行いました！

令和7年5月23日(金)、晴天のもと今年度の「田んぼの学校」が開校し、実践モデル校の二本松市立東和小学校の5年生児童31名が、つなぐ棚田遺産に選定された「東和の布沢棚田」で、「布沢の環境を守る会」の協力のもと田植えを行いました。

田植え前に行われた開校式では、田んぼの学校長の菅野金一氏、東和小学校の齋藤直校長、当所の農村整備部長の挨拶があり、児童たちに「食べ物や命」、「自然や生き物」、「人と人のつながり」「地域とのつながり」の大切さを学んでほしいとの話がありました。

田植えでは、「布沢の環境を守る会」の代表菅野正寿氏が、児童にお手本を示し、最初は田んぼに入るのがやっとだった児童達も徐々に慣れてきて、順調に田植えを終えました。田植え後には、代表児童の感想、菅野正寿氏の講評があり無事終了しました。

今後は、6月に田んぼの生き物調査、9月に案山子づくり・稲刈り、11月に脱穀作業、12月には収穫祭(餅つき大会)を予定しています。児童は、自分達が植えた苗が順調に育ち、秋には大きな穂をつけてくれるのが楽しみです。収穫したお米(もち米:こがねもち)で作ったお餅をおいしくいただくのが、今から待ち遠しいです。



田植え開始



田植え 順調



田植え、もう少し！



田植え完了、きれいに出来ました。

【担当部署】農村整備部

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

地域産業 6 次化を推進しています

県では福島県の豊かな農林水産資源を活用し、地域の多様な主体がそれぞれの強みを生かして取り組む「地域産業 6 次化」を平成 22 年から戦略的に推進してきました。これまでの取組の成果や課題、近年の社会経済情勢を踏まえつつ、本年 3 月には「第 4 期ふくしま地域産業 6 次化戦略」を策定しました。引き続き、行政や試験研究機関、関係機関・団体が一体となった機動的な推進体制により地域産業 6 次化をより一層推進していきます。

第 4 期戦略の概要及び全文は、農林企画課の HP に掲載していますのでご覧ください。

第 4 期戦略 URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/what6jika.html>

当所では、県北地方振興局と連携を図り、情報交換や事業パートナーとの出会いの場として「けんぽく 6 次化ミーティング」（ふくしま地域産業 6 次化ネットワーク）を設けています。地域産業 6 次化に関心と意欲がある個人・団体の方なら、どなたでも参加できます。会員には、メールによる情報提供（各種補助事業、イベント情報など）や、会が開催する交流会を案内します。ぜひ会員登録をお願いします。詳細は当所 HP をご覧ください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/6jikami-thingu.html>

ふくしま地域産業 6 次化サポートセンター（ふくしま地域資源活用・地域連携サポートセンター）は、6 次化に取り組んでいる方や取り組んでみたい方に対して、各地区の企画推進員が相談者の内容に応じて、専門家（イノベーター）の派遣や加工業者の紹介などのサポートを行っています。

【県北地区の企画推進員の紹介】

4 月から新たに須貝美佐子企画推進員が県北地区を担当することになりました。農林水産物を活用して、新しいチャレンジをお考えの方は、まず、企画推進員に御相談ください。

住所：〒960-8042 福島市荒町 4 - 7

福島県再生可能エネルギー合同ビル 2 階（㈱ライフロール内）

電話：080-9250-1303

メール：6r@life-role.jp



令和 6 年度けんぽく 6 次化ミーティング交流会



須貝企画推進員のイメージイラスト



農林企画課 HP
第 4 期ふくしま
地域産業 6 次化戦略



当所 HP
けんぽく 6 次化ミーティング
会員募集

【担当部署】企画部

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生募集

令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生の募集が始まります。
森林・林業に興味のある方や、県内の林業事業体などで働きたい方の応募をお待ちしております。

(1) 推薦選考(10名程度)

申請期間：7月1日(火)～7月31日(木)

試験日：8月19日(火)

(2) 一般選考(5名程度)

申請期間：「前期」9月1日(月)～9月26日(金)

「後期」10月27日(月)～11月21日(金)

試験日：「前期」10月8日(水)、「後期」12月3日(水)

※ 前期試験で定員に達した場合、後期試験は実施しません

(3) 申請先・問合せ先

福島県林業研究センター企画研修部(郡山市安積町)

電話：024-945-5974、5975

メール：forestry.rc@pref.fukushima.lg.jp

詳しくは林業アカデミーふくしまのホームページをご覧ください

URL：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/forestry-academy-fukushima/>



林業アカデミーふくしま研修生募集



林業アカデミーふくしま研修施設



林業アカデミー
ふくしま HP



同左 Facebook

【担当部署】森林林業部

【振興方向】5 その他

～随時、情報を発信しています～

当所では、農林水産部公式 Youtube チャンネル、ホームページ、SNS（Instagram）で、
県北地方の食と農、農林業と農山村に関する情報を随時発信していますので、どうぞ御覧ください。

農林水産部公式

当所ホームページ

当所Instagram

Youtube チャンネル



編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

